

河内集落「集落営農ビジョン」

作成日: 平成 22 年 3 月 1 日
 修正日: 平成 年 月 日

市町村名	鳥取市	組織名	河内水田利用組合
1 地区の範囲			
鳥取市鹿野町 河内地区(矢原集落を除く)			
2 地区の概要			
水田面積	51.9 ha		
主な水田栽培作物	水稲、そば、大豆		
農家数	79 戸		
認定農業者数	0 経営体		
地域水田農業ビジョンの担い手数	4 経営体		
3 組織化の目標(設立時期の目標は、事業実施年度内とする。)			
・設立時期(規約等の制定日)【平成22年2月1日】			
	組織形態(該当形態に○)		加入農家数
【現状】前年度実績 (20年度)	・未組織 ・共同利用型 ○作業受託型		26 戸
【目標】事業開始翌年度 (22年度)	・共同利用型 ○作業受託型 ・協業経営型		40 戸
4 集積率(機械の共同利用と作業受託)の目標			
項目	【現 状】	【目 標】	
集積面積 ①	15.6 ha	23.0 ha	
うち作業受託 ②	14.7 ha	22.3 ha	
対象水田面積 A	44.1 ha	44.1 ha	
集 積 率 ①/A	35.4 %	※③	52.1 %
うち作業受託 ②/A	33.4 %	※④	50.5 %
注 1) ※③の集積率の目標は採択要件。50%超が必要。			
2) ※④の作業受託による集積率の目標が、50%超の場合は事業費上限10,000千円、50%以下の場合は事業費上限5,000千円。			
3) 集積面積の詳細は、別表「集積目標(実績)一覧」により作成。			

I 集落営農に対する基本方針(自由に記載)

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】

1 担い手の明確化及び水田利用集積目標

- ・当集落では、近年集落外への(県外等)移住による人口の流出や少子高齢化の進展により自己保全管理とはいいつつ耕作放棄地が増える傾向にある。そのため、今後、集落内農地(水田)の保全に危機感を持っている。
- ・現在、農家数79戸のうち戸別農家26戸で秋作業を中心に農業機械の共同利用を行っていますが、今後は、春作業(耕起・田植)も需要が見込まれるため共同利用を検討中です。
- ・今後、耕作者の高齢化に伴い、個人で行っている農作業を地域全体で支えるため、集積率の向上や作業受託を行うなど集落で不耕作地を出さないよう守っていきとともに、農作業の安全確保、効率化、品質向上等を目指します。
- ・将来的にも、集落内の農地の不耕作地を出さないことによる、緑溢れる集落景観の維持に努めていきたい。

2 水田作付け計画、生産調整の方針・具体策

- ・水田については、市の生産調整を遵守しながら作付けし、耕作放棄地についても所有者の理解を得ながらブロックローテーションによるそばを中心とした転作を図り、作業の効率化を図っていきたい。

3 農業用機械施設の効率利用

- ・集落内で所有するほとんどの機械が耐用年数を経過しており、機械の修理費等が嵩んでいる状況にあります。
- ・今年度コンバイン1台と乾燥機1台を当組合で導入し共同利用を行うとともに、将来的には耕作できない農家の受け皿となることを目指します。
- ・また、安全対策が施されている最新機械の導入により、作業の効率化が図られるとともに、高齢化しつつあるオペレータの安全が確保でき、将来的に継続した地域営農に寄与するものと考えております。
- ・なお、個人所有の機械は、個人で更新しないことで申し合わせ済みです。

II 農業用機械施設の整備方針

1 本事業で導入する機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月日
コンバイン	29PS	1台	4,830,000 円	平成22年3月
乾燥機	42石	1台	1,921,500 円	平成22年3月
合計			6,751,500 円	